

いんふおめへしょん

2017年12月11日

全商連・税金問題研究集会

12月9日・10日に全商連・第19回全国税金問題研

究集会の西日本会場が大坂・TKPガーデンシティ

PREMIUM心斎橋で開催され、吹田民商から役員・事務局7名が参加しました。

1日目の全体会の最初は基調報告があり、消費税増税とインボイス制度、強権化する税務調査と徴収、

マイナンバー制度、弾圧を許さない運動、自主計算活動の推進など幅広い問題提起が行われました。シンポジウムでは全商連税対部長の服部さんから16年ぶりになる「納税者の権利宣言（第5次案）」の報告があり、倉敷民商弾圧事件の弁護団の一人である則武弁護士から「倉敷民商事件と納税者の権利」として倉敷民商事件の内容や世界の税金をめぐる歴史や日本の税務行政の問題点などを取り上げられました。税経新人会の清家税理士から「戦争する国づくりから平和・福祉の国づくり」へと題し税金の使い方、集め方について講演がありました。2日目は午前に分散会が行われ、全体会の報告をもとに各地の税務調査や徴収の実態も踏まえて討議が進められました。午後からは元静岡大学教授の湖東京至税理士から複数税率とインボイス方式について学習講演があり、インボイス方式による事務の煩雑さや免税事業者の取引排除の問題、諸外国の複数税率の実態について解説されました。最後に全商連副会長の藤川さんがまとめ報告を行い、安倍の改憲策動と消費税増税・インボイス導入の両方で来年が大変な1年になると強調して訴えられました。



自主計算パンフ学習会

12月3日（日）から8日まで連続で行われた学習会には24名が参加しました。

学習会はパンフに沿って、「税金の集め方と使い方を正す運動」「消費税の増税とインボイスの導入を阻止する運動」「人権無視の税務調査は許さない」など民商の運動面の学習。「記帳・申告を仲間と学び経営に役立てる」と記帳の大切さと実務面の学習を行いました。

中央支部 Oさん

呑み込みが悪くて躊躇ってしまい、なかなか難しいので学習会は有難く、いいですね。月に1回ぐらいは勉強していきたいと思います。参加してよかったです。減価償却の分からなかつたところが分かつて気付いて良かったです。



北支部 Mさん

やらないとあかんことはわかつていたのですが今回付つきりで教えていただきました。「たとえば、領収書をただ集めるのではなく月別で保管する。一度に一年分を集計することから、月別で書き留めていくことからはじめます。

NT支部 Nさん

来て良かったです。毎年しないといけないと分かっていられるけどなかなか出来ないので学習会で参加して気付きました。請求書とかがないのでFAX用紙をおいていたものと通帳とかの数字を見て記帳していくのでまとめてすると大変。でき、本当によい研究集会でした。

桑島副会長

消費税の複数税率とインボイス導入は必ず中止に追い込まれないといけないと感じた。軽減税率などと謳いながら、インボイス制度が導入されれば自分たち業者は本当に大変なことになり、社会的にも混乱することになる。軽減税率ではなくインボイス制度導入が狙いの複数税率ではないかと思う。「納税者の権利宣言（第5次案）」も学ぶことができ、本当によい研究集会でした。

工藤会長

岡崎副会長

この研究集会で安倍政権による戦争する国づくりと消費税増税が強く結びついているとありありと実感しました。倉敷民商弾圧事件の則武弁護士の講演も聞くことができ、この問題について認識を深めることもできました。



会費集金は経営のヒント・アドバイスの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう

ドキュメンタリー映画
いのちの海 辺野古 大浦湾
監督: 謝名元 慶福・語り: 佐々木 愛 (約71分)
上映会

辺野古新基地建設が強行されている名護市では来年2月に市長選挙が行われます。辺野古の美しい海を守るために、現地のたたかいを学びましょう。どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。

12月20日(水)夜7時より

吹田民商会館

講演: 吹田平和委員会に講師依頼中



美しい、いのちあふれる海が破壊される
アメリカの戦争のために
人間のいのち ジュゴン ウミガメのいのち
多くの生き物のいのちが奪われようとしている
辺野古大浦湾の記録